

2023年8月2日

令和5年度 VOL.22

～夏空彩るビビッドカラー～ ジニア まもなく見頃です

国営ひたち海浜公園の「みはらしの里」では、約35万本のジニアが現在、5分咲きとなっています。8月4日には見頃（7分咲き）を迎え、見頃は8月末頃まで続くと予想しています。夏の暑さに強く、真夏の炎天下でも同じ株に次々と花を咲かせることから、夏花壇の定番として人気が高いジニア。花畑一面を覆い尽くすビビッドカラーのジニアが、昔懐かしい古民家やコキアを背景に、夏空を彩る風景をお楽しみいただけます。



みはらしの里 撮影/2023年8月2日

◆開花期が長い「百日草（ヒャクニチソウ）」

ジニアはキク科ヒャクニチソウ属で、メキシコを中心とした南北アメリカ原産の一年草。日本には江戸時代末期に渡来し、仏花として親しまれてきました。和名の「百日草（ヒャクニチソウ）」は、開花期間が長く、同じ株に次々と花を咲かせることに由来します。花言葉の「絆」や「不在の友を思う」、「いつまでも変わらぬ心」などにも、長く花が咲き続ける特徴が表れています。

【ジニア】

- 見頃時期/8月4日～8月末頃まで
- 品種数/10品種(ロイヤルミックス他)
- 本数/約35万本
- 場所/みはらしの里
- 植栽面積/約3,000㎡

◆多彩な花色・花姿

みはらしの里には、“赤・白・黄・桃・紫”の5色がカラフルな「ロイヤルミックス」を中心に、散策路から目の前で花を觀賞できるように、10品種を植栽しています。ロイヤルミックスは草丈が80cmほどで、存在感がある直径約10cmの花と、夏空を彩るビビッドカラーが多いのが魅力です。ほかにも、赤地の花びらの先が乳白色に染まり、多彩なグラデーションを生み出す「マズルキア」や、爽やかなライムグリーンと丸いフォルムが魅力の「ジャイアントライム」などを植栽しているので、多彩な花色と花姿をお楽しみいただけます。



マズルキア (2022年7月25日撮影)



ジャイアントライム (2022年7月31日撮影)

◆みはらしの丘ではコキアが成長中

みはらしの里に隣接する「みはらしの丘」では、爽やかなライムグリーンのコキアが生育中で、現在約40cmのコキアは、日を追うごとに“ふわふわ”と丸みを帯びてきました。見頃を迎えたジニアの背景には、昔懐かしい「古民家」や生育中の「コキア」、8月中旬に見頃を迎える予想の「ヒマワリ」があるため、SNS映えする撮影のバリエーションも豊かです。



コキア (2023年8月2日撮影)

Information

太平洋を一望できる「ガラスハウス」では、「サンパチェンス」が咲いています。

公園公式SNSもご覧ください



お問い合わせ 国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報係 田中・渡邊・田野
TEL:029-265-9001 FAX:029-265-9339
〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4

<https://hitachikaihin.jp>